

# 会議概要

会議名 : 平成30年度第2回益田市入札・契約適正化委員会  
 日時 : 平成30年11月12日(月) 13:15～  
 場所 : 市役所本館 3階 第3会議室  
 委員 : 林 秀司 (大学教授)、田中秀樹 (弁護士)  
           大野利昭 (税理士)、前田邦男 (学識経験者)  
 出席者 : 委員4名、事務局2名

## 議 事

(1) 平成30年度(前期) 入札結果状況について

### 入札結果の比較

#### 平成29年度 入札結果

##### 入札件数 工事関係

総合評価	4 件
一般競争入札	0 件
簡易型一般競争入札	29 件
指名競争入札	54 件
小計	87 件

##### 入札件数 物品関係

総合評価	0 件
一般競争入札	5 件
簡易型一般競争入札	0 件
指名競争入札	23 件
小計	28 件

入札件数 合計	115 件
---------	-------

##### 予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	979,425,000 円
落札金額	915,109,380 円
総落札率	93.43%

#### 平成30年度 入札結果

##### 入札件数 工事関係

総合評価	3 件
一般競争入札	0 件
簡易型一般競争入札	24 件
指名競争入札	50 件
小計	77 件

##### 入札件数 物品関係

総合評価	0 件
一般競争入札	10 件
簡易型一般競争入札	0 件
指名競争入札	24 件
小計	34 件

入札件数 合計	111 件
---------	-------

##### 予定価格・落札金額 工事関係

予定価格	1,014,049,000 円
落札金額	979,975,500 円
総落札率	96.64%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	132,379,732 円
落札金額	117,604,650 円
総落札率	88.84%

予定価格・落札金額 物品関係

予定価格	273,892,205 円
落札金額	255,757,486 円
総落札率	93.38%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	1,111,804,732 円
落札金額	1,032,714,030 円
総落札率	92.89%

予定価格・落札金額 合計

予定価格	1,287,941,205 円
落札金額	1,235,732,986 円
総落札率	95.95%

1 平成30年度前期の発注件数・発注金額について

平成30年度前期の益田市の入札状況は、建設工事関係の発注件数は減少傾向、発注金額は微増。物品関係では、発注件数・金額ともに昨年に比べ増加となった。

建設工事関係では、発注件数は減少しているが市道新澄川線法面对策工事（落札額106,500,000円）、中西中学校屋内運動場改築（建築）工事（落札額330,000,000円）など、金額の大きい総合評価方式の発注があったことから、総落札金額は増加となっている。反面、一般競争入札、指名競争入札では発注件数・金額とも減少している。

物品・役務の提供の発注件数・金額は、平成29年度中に比べ、益田市立小学校教育用コンピュータ更新業務委託（リース対象物件）（1,300,000,000円）など大きい調達があったこと、指名競争入札の案件も増加傾向であったことから発注件数・金額とも増加となった。

全体としては、発注件数は前年から微減。発注金額は、大型の工事・物品調達があったことから前年より増加となった。

近年の動向としては、平成27年度を境に大きく発注件数・金額ともに減少している。平成27年との比較では、件数で4割、金額では3割、減少している。原因としては、平成28年度までは、学校耐震化事業、学校給食共同調理場事業など教育委員会関連の工事・物品調達等が多くあったが、それらが一段落したことの影響と思われる。

2 落札率について

平成30年度の落札率については、前年に比べ工事・物品関係ともに上昇。工事関係では、昨年度に比べ入札参加者が減少したことが影響している。原因としては、山陰自動車道整備及び平成30年7月豪雨が関係しているのではないかと思われる。特に、豪雨災害では、近隣市町村だけではなく、大きな被害のあった広島県の自治体からも声が掛かったと聞いている。

物品についても、前年と比較して、入札参加者が減少している。

平成29年度 低入札調査等

最低制限失格	16	件
	33	者

低入札	3	件
	7	者

数値的判断基準失格	1	件
	5	者

低入札調査失格	0	件
	0	者

低入札での契約	0	者
---------	---	---

平成30年度 低入札調査等

最低制限失格	10	件
	18	者

低入札	1	件
	3	者

数値的判断基準失格	1	件
	1	者

低入札調査失格	0	件
	0	者

低入札での契約	0	者
---------	---	---

3 最低制限価格失格及び低入札の増加について

最低制限価格及び調査基準価格については、試算で設計金額の90%から93%程度の間を設定されている。

最低制限価格失格の発生した案件・業者数ともに減少している。落札率が上昇傾向にあり、最低制限価格失格も減少傾向にある。

最低制限価格失格の多くが登録業者数の多い土木工事となっており、特定の業種での競争が激しい状況にある。その中でも、入札参加者の多い人気のある工事で失格が多く発生した。

また、今年度から特別資材調査を実施しており、そのことも最低制限失格の発生に影響していると思われる。

【委員】特別資材調査とはどういうものか。

【事務局】資材単価が設定されていない100万円を超える特殊なものについて、経済調査会へ調査依頼するもの。

4 入札の不調・不落について

前年度に比べて、工事の指名競争入札に関して、全者辞退による不調が増加。

不調は、ため池などの農業災害に関するものを含め土木工事が10件、建築工事が2件。不人気工事と思われるものは、最初から指名業者を増やすなど対策をしている。

【委員】不調不落への対応はどうしているのか。

【事務局】指名競争入札では、指名業者を増やしたり、上のランクで再度入札もしている。最終的に、それでも決まらない場合には、随意契約で対応している。

(2) 抽出案件の審議（平成30年度上半期4月～9月分）

### 建設工事：総合評価方式一般競争入札（2件）

#### ①市道新澄川線法面对策工事

【事務局】本工事は、H29年6月に匹見町澄川地区において発生した法面の崩落対策工事。

入札参加資格として、許可業種はとび・土工・コンクリート工事（法面処理）。益田市内に主たる営業所を有するもの又は準市内業者若しくは支店有業者の認定を受けたもので、総合点数は、とび・土工・コンクリート工事（法面処理）の総合点数が750点以上

施工実績として、島根県内における公共工事において元請として過去15年間に1契約2,000万円以上の完成した法面工事の実績があること。

監理技術者又は主任技術者として、1級土木施工管理技士、1級建設機械施工技士、技術士、国土交通大臣認定者のいずれかを専任で配置できることとした。

#### 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（97,903,000円）が設定されている。

益田市建設工事総合評価方式実施要綱第3条第1項第2号による簡易型総合評価方式で入札を実施した。

4者の申請・応札があり、1者のみが予定価格以下、調査基準価格以上の応札であった。

総合評価を実施し、日新建設(株)を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。

【委員】3者が予定価格超過となっており、総合評価方式の意味がなかったということか。

【事務局】この案件では1者以外予定価格超過であったため、価格と技術評価点、トータルでの競争とはならなかった。

【委員】入札参加を希望する業者だけが入札参加をしているのか。

【事務局】営業所の地理的条件などの入札参加資格の中で、参加を希望する者が入札参加している。

【委員】結果的には、評価の高い業者が落札しているが、総合評価方式としては、うまく機能していない。手続き上の問題はないが、1者以外は予定価格超過ということで、メリットが見えてこない案件になっている。

【事務局】総合評価方式では、よい提案をしなければ評価点に繋がらないため、工事の品質向上の効果はある。

【委員】評価項目はどのようになっているのか。

【事務局】技術提案以外にも、評価項目として企業・技術者・地域貢献などを評価項目としている。例えば、工事实績や優良工事表彰、除雪、若手技術者に関するも

のなど価格以外の要素、工事の品質・施工能力を問うような内容になっている。

## ②中西中学校屋内運動場（建築）工事

【事務局】中西中学校屋内運動場の建築工事となる。

競争参加資格として、許可業種は建築工事業で、単体企業若しくは2または3者による甲型共同企業体。

○単体企業又は共同企業体の代表者

益田市内に営業所を有する者で、総合点数が850点以上の者。

施工実績として、過去15年間に1契約5,000万円以上の建築一式工事の実績があること。

配置技術者として、監理技術者又は主任技術者として1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できること。

○共同企業体の構成員

益田市内に営業所を有する者で、総合点数が700点以上の者。

施工実績として、建築一式工事を施工した実績があること。

配置技術者は、主任技術者として1級建築士、1級建築施工管理技士又は国土交通大臣認定者を専任で配置できること。

## 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（313,063,000円）が設定されている。

益田市建設工事総合評価方式実施要綱第3条第1項第2号による簡易型総合評価方式で入札を実施した。

2者より申請・応札があり、1者が予定価格以下、最低制限価格以上での応札であった。総合評価を実施し、徳栄建設・大栄建設特別共同企業体を益田市競争参加資格審査会において落札者とした。

【委員】この案件も、総合評価方式のメリットが活かされなかったということか。

【事務局】技術評価点の高い共同企業体が予定価格超過となった。

【委員】総合点数などの各種入札参加要件は、どのように周知しているのか。

【事務局】入札告示によって示し、入札情報システムへ掲載している。

【委員】共同企業体は、工事ごとに結成するのか。

【事務局】工事ごとに結成する。

【委員】共同企業体の対象工事は、金額の大きい工事か。

【事務局】規模が大きく、技術的に難しい工事が対象となる。

【委員】金額で決まっているのか。

【事務局】金額で決まっており、土木工事は設計金額1億5千万円以上、建築工事で2億円以上、その他の工事は1億円以上となっている。単体企業で請負うこ

ともできるが、技術力を結集し、安定的に施工するために、通常は共同企業体を結成する。

#### 建設工事：(簡易型) 一般競争入札（1件）

##### ③（仮称）防災街区公園整備工事（その1）

【事務局】 益田市役所前に整備している防災街区公園整備工事として行われた「耐震性貯水槽設置工事」となる。

入札参加資格としては、許可業種は土木工事業で、益田市内に主たる営業所を有する者。

総合点数等は、土木一式工事の総合点数が650点以上850点未満の者又は総合点数が850点以上で、かつ、吉田地区に主たる営業所を有する者。

施工実績として、島根県内における公共工事において、過去15年間に1契約500万円以上の完成した土木一式工事の施工実績があること。

配置技術者は、監理技術者又は主任技術者として1級若しくは2級土木施工管理技士、1級若しくは2級建設機械施工技士、技術士、国土交通大臣認定者のいずれかを配置できることとした。

#### 入札状況について

本件入札には、最低制限価格（11,643,000円）が設定されている。

益田市建設工事等簡易型一般競争入札実施要綱第3条第1項による簡易型一般競争入札で入札を実施した。

6者の申請・応札があり、開札の結果、4者が最低制限価格以下の応札のため失格。予定価格以下、最低制限価格以上の応札で最も低い価格の平川工業(有)を益田市競争参加資格審査会で落札者とした。

【委員】 最低制限価格失格が多い理由はなにか。

【事務局】 耐震性貯水槽設置工事で、特別資材調査の対象となっている。工事の積算では、大部分が耐震性貯水槽の費用であるため、貯水槽の見積りが重要となる。低く見積り過ぎた業者は失格となった。

【委員】 入札参加資格の点数要件に、施工地区業者の記載があるがどういうことか。

【事務局】 総合点数650点以上850点未満の者のほかに、総合点数850点以上の上のランクであっても工事施工地区の者は入札参加できることとした。

#### 建設工事：指名競争入札（1件）

##### ④平成30年度漁港・港湾浚渫工事

【事務局】 この工事は、益田市の小浜漁港、津田漁港、土田漁港、遠田港の4つの漁港の浚渫と養浜を行うもの。

選定要件については、県内に本店を有する者で、浚渫工事に登録があり、

船舶を所有している7者を指名した。

#### 入札状況について

本件入札には、最低制限価格（6,472,000円）が設定されている。

全7者より応札があり、6者が予定価格以上であった。予定価格以内、最低制限価格以上で応札した大畑建設(株)を落札者とした。

【委員】7者指名で全者応札しているが、落札率が高い。昨年も、同じ業者が落札していたがどうか。

【事務局】入札参加の条件として、船舶が必要。工事には、浚渫船、土運船を必要とするが、市内に船舶を保有する業者は1者で、昨年も市内業者が落札している。積算は、浚渫した砂を、養浜場所へ移す工事なので、複雑ではないため落札率は高くなっている。

【委員】市内業者との随意契約ということにはならないのか。

【事務局】予定価格が高く、市外業者でも安く請け負える可能性があるので、入札の必要があると考える。

#### 建設工事：随意契約（1件）

##### ⑤市道新澄川線法面对策工事（その2）

【事務局】総合評価案件の市道新澄川線法面对策工事と関連した工事である。

アンカーについて、特別資材調査を実施したため、同時発注ができなかった。

総合評価方式一般競争入札で発注した市道新澄川線法面对策工事と密接に関係する付帯的な工事であり、本体工事を受注した日新建設(株)が施工することが工期・経費等の面で有利である。

よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号による随意契約とした。

#### 入札状況について

随意契約であるので、最低制限価格の設定はされてない。

見積りを徴し、予定価格以下であったので随意契約した。

契約の相手方：益田市下本郷町219-2

日新建設(株)

契約日：平成30年7月10日

【委員】一緒に発注できなかったのか。

【事務局】特別資材調査のため分割となった。調査の結果、資材としては100万円以下であったため、特別資材調査の該当とはならなかった。密接に関連した

本体工事の受注者と随意契約とした。

【委員】見積りを聴取して、予定価格より低かったということか。

【事務局】そのとおり。

## 建設コンサルタント：(簡易型) 一般競争入札（1件）

### ⑥益田市地区漁港海岸長寿命化計画作成業務委託

【事務局】この業務は、市内小浜漁港海岸、津田漁港海岸、木部漁港海岸、土田漁港海岸の対象海岸について、堤防・岸壁などの点検・評価を行い、長寿命化計画作成する業務。

入札参加資格としては、島根県内に本店又は営業所等を有する者で中国地方における公共事業において、過去10年間に完了した海岸保全施設の長寿命化計画作成に関する業務、または漁港、港湾施設の機能保全計画作成に関する業務の受注実績があること。

管理技術者として技術士（建設部門「河川、砂防及び海岸・海洋」、「港湾及び空港」、「鋼構造及びコンクリート」、農業部門「農業土木」、水産部門「水産土木」、総合技術管理部門のいずれか）又はこれと同等程度の知識と技術を有すると認定された者（認定技術管理者、RCCM（「河川、砂防及び海岸・海洋」、「港湾及び空港」、「鋼構造及びコンクリート」、「農業土木」、「水産土木」）、国土交通省登録技術者資格保有者等）を配置できることとした。

### 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（11,503,000円）が設定されている。

益田市建設工事等簡易型一般競争入札実施要綱第3条第1項により簡易型一般競争入札で入札を実施した。

13者の申請・応札があり、開札の結果、調査基準価格以下の応札が3者あったが、数値的判断基準を満たした1者が辞退。

よって、予定価格以下、調査基準価格以上で最低価格での応札をした同額5者で、くじによる抽選を行い、中電技術コンサルタント㈱を益田市競争参加資格審査会で落札者とした。

【委員】漁港を調査して、修繕計画作成するということか。

【事務局】この計画自体は、堤防などを調査・評価をして、何年度にどこの堤防を補修するなどの計画作成する業務。市には、漁港施設の浸食などに関する専門知識がないため、ノウハウのあるコンサルタント業者へ依頼し、計画作成する。

【委員】入札状況の詳細についてはどうだったのか。

【事務局】この件では、調査基準価格以下の応札が3者あった。調査の結果、数値的判断基準に適合した1者も辞退したため、調査終了となり、予定価格以下、

調査基準価格で最低価格での応札をした同額5者で、くじによる抽選を行った。低入札で業務を請負う場合には、契約保証金、前金払いの金額、技術者の専任配置などの条件がつく。

低入札調査については、年に1・2件程度発生している。

【委員】積算の精度が高いことの原因はなにか。

【事務局】標準歩掛り等公表されているので、高い精度が出せる。その中での、競争であり、数千円の差で低入札となった案件。

【委員】極めて高い精度の積算かつ調査基準価格と同額での落札ということで、市としては、入札の効果のあった案件といえる。

### 建設コンサルタント：指名競争入札（1件）

#### ⑦美濃コミュニティセンター実施設計業務委託

【事務局】この業務は、美濃小学校の廃校後の敷地に新たに地域コミュニティの維持・継続のための活動拠点の場として、また地域の安全を守る避難所としての機能強化を図る施設を整備するもの。

- ・センター W造 1F 375㎡
- ・屋外倉庫・トイレ棟 W造 25㎡
- ・備蓄倉庫 W造 8㎡

#### 入札状況について

本件入札には、調査基準価格（6,387,000円）が設定されている。全10者より応札があり、6者が予定価格以上であった。予定価格以内、最低制限価格以上で応札した4者のうち最低価格での応札をした(有)大石建築事務所を落札者とした。

【委員】小学校の敷地にコミュニティセンターを建設するということか。

【事務局】廃校になった美濃小学校の校庭部分に、地域の中心となるコミュニティセンターを建設する業務。

### 物品調達：一般競争入札（1件）

#### ⑧益田市防災ハザードマップ作成業務

【事務局】この業務は、島根県が公表している土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域、ため池が決壊した場合の浸水想定区域及び国土交通省、島根県において更新された河川氾濫による浸水想定についてのそれぞれの最新情報を収集整理し、指定避難所、指定緊急避難場所等、土砂・浸水災害、自然災害に広く関連する避難情報を網羅した「益田市防災ハザードマップ」を作成する業務となる。

- 益田市防災ハザードマップ作成業務の成果物
  - ・土砂・浸水（洪水、津波、ため池）ハザードマップ
  - ・指定避難所・指定緊急避難場所等のマップ
  - ・防災対策啓発用資料
  - ・ホームページ用データの作成
  - ・B4サイズ（見開きB3横型サイズ）で冊子型
  - ・総ページ数は、表・裏紙含めて92ページ
  - ・作製部数22,000冊

入札参加資格は、益田市物品の売買等入札参加資格名簿大分類「印刷・製本類」、小分類「出版・製本・制作」に登録され、中国管内に営業所を有する者。

実績として、過去10年間に地方公共団体が作成する防災ハザードマップの受注実績を求めた。

#### 入札状況について

本入札には、最低制限価格は設定されていない。

公平な価格競争ができるよう益田市契約規則第5条の規定に基づき一般競争入札とした。

5者からの申請があり、5者の競争参加資格が確認された。

開札の結果、1者が予定価格超過であり、予定価格以内であった4者のうち最も低い価格で応札した㈱中央ジオマチックス広島営業所を益田市競争参加資格審査会で落札者とした。

【委員】実績を求めたのか。

【事務局】他の自治体での防災ハザードマップ作成実績を求めた。

【委員】落札率が極端に低いが、作成に問題ないのか。

【事務局】ノウハウがあれば、安く応札できる可能性はあったと思われる。担当課に進捗状況を問い合わせたが、現在のところ特に問題はない。

【委員】予定価格に問題があったということはないのか。

【事務局】複数者から参考見積もり聴取し、予定価格を作成しているので問題はない。

【委員】手続上は問題ないが、結果的に極端な低落札率となっており、今後、類似の業務の価格設定時にはより留意が必要。

また、B版サイズについても検討の余地があるかもしれない。

【委員】全世界帯に配布するのか。

【事務局】全戸配布予定としている。

## 物品調達：一般競争入札（1件）

### ⑨久城が浜センター貯留槽定期清掃業務委託

【事務局】 この業務は、久城が浜センターの貯留槽を毎年定期的に清掃し、残渣物（細砂や固形物）を除去することでポンプ等機械設備の損耗を減らし、貯留槽内部の腐食や劣化状況を点検する。

久城が浜センターの攪拌槽、再曝気槽、第2分離液槽、し尿貯留槽、浄化槽汚泥受入槽、残渣物処理 34 m<sup>3</sup>の清掃作業となる。

中国管内に営業所を有し、大分類「保守・管理」小分類「一般廃棄物処理」に登録のある者で、酸素欠乏危険作業主任者を配置できる5者を指名した。

### 入札状況について

本件入札には、最低制限価格は設定されていない。

2者より応札があり、ともに予定価格以内の応札であった。最低価格での応札をした(有)カンサイを落札者とした。

【委員】 5者指名で、2者の応札となっている。落札者は市外の業者か。

【事務局】 広島県の業者となっている。

【委員】 指名業者も少なく、業者が固定しているのではないか。

【事務局】 市内業者もなく、登録業者のうち酸素欠乏危険作業主任者を配置できる者が少ない。

【委員】 入札参加者は少ないものの落札率は低いことの原因は何か。

【事務局】 入札参加者が1者でないことで、落札率が下がっていると思われる。

【委員】 この案件では、どのように入札をしているのか。

【事務局】 工事は100%電子入札だが、物品ではインターネット環境が整っていない業者も多く、すべてを電子入札で実施できない。この案件では、電子入札と紙入札の併用で実施した。

## 物品調達：一般競争入札（1件）

### ⑩高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

【事務局】 この業務は、益田市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業等実施要綱に基づくサービスの提供（市営須子団地、県営久城団地）

- ・日常生活の指導、相談、安否確認
- ・一時的な家事援助
- ・緊急時における連絡等

在宅介護支援センター、介護保険施設又は通所介護等の運営を行う社会福祉法人等のうち、須子団地に近く、緊急時の対応等も迅速に対処できる。

また、久城団地においても同業務の実績があることから、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約とした。

